

第6回多治見市役所新庁舎検討市民委員会 会議録	
日 時	令和3年10月20日（水）午前9時00分～午前10時45分
会 場	産業文化センター 3階中会議室
出席委員	小林甲一委員（委員長）、柴田錦見委員（副委員長）、佐藤喜好委員、田嶋義晋委員、加藤恒文委員、坂崎雄介委員、佐々木千裕委員、今枝寛彦委員、小口英二委員、西尾英子委員、竹本幸二委員
欠席委員	堀尾憲慈委員
事務局	富田総務部長、福田総務課長、古田課長代理、石田主査、佐藤主任、水野都市政策課長、堀尾建築住宅課長
傍 聴 人	8名
報道機関	4社
会議結果 要旨	
1. 中間報告について、本日の議論をもとに修正を行い、委員長の承認をもって確定とする。 2. 中間報告は、委員長が代表して市長へ提出する。 3. 新庁舎建設計画の進行に沿い、新庁舎の機能等、より踏み込んだ議論を行っていく。	
会議録 要旨	
1 総務部長挨拶	
2 議事 委員長	前半は中間報告（案）について議論し、参考資料について事務局から説明をうける。 後半は、新庁舎の機能、設備について今後の議論のきっかけとなるよう、他自治体の事例を参考に意見交換を行う。
（1）中間報告（案）について	
委員長	大枠について確認した。いくつか論点になった部分について加筆、修正を行った。また一部表現を変更した。
事務局	（前回からの変更点を中心に、中間報告（案）について説明）
委員長	委員会当初から多くの議論を呼んでいた「駐車場の整備手法」について、表現を迷ったが意見を表明されていない方もいるため「否定的、消極的な意見が出されました」とした。委員会の方向性としては、慎重な検討が求められるというところに落ち着くのではないかと思う。1から6までの論点については、みなさんの意見を網羅した。また整備手法についても記載した。 現本庁舎周辺のまちづくりについて、踏み込んだところまで議論されてきたが、具体的に記載することで誤解を与える恐れがあるという意見から、論点だけを記載することとした。 全体を通して、これまでの議論、前回の議論について100%とはいかずとも網羅した内容になっていると思う。市としての取り組み、市民の間での議論のひとつの土台となれるようなものに仕上がっているのではないかな。 完成を目指し、具体的に修正箇所についてご指摘願う。
委員	駐車場の整備手法について、駅南在住者の代表として申し上げる。駅北に新庁舎が建

	設されることを前提として議論されたことが記載されているが、駅南からもアクセスできる駐車場を整備してほしいと申し上げた。駅南在住者は、川と線路を超えないと駅北地区へ行くことができない。駅南にも来庁者が利用できる駐車場を整備してほしい。
委員長	委員が言う「駐車場」は来庁者専用か、共用か。
委員	専用であるかどうかはどちらでもよい。駅南に車を止め、歩いて庁舎へ向かうという選択肢がほしい。車の往来が減り、人が歩く流れができることで、にぎわいの形成につながるのではないかな。
事務局	「５（２）駐車場の必要性について」に「駐車場を分散する方法も視野に入れ」と記載があり、また「④民間駐車場の利用（提携・アウトソーシング）も可能であること」と記載がある。駅南側について整備することを明確に記載してほしいというご意見を踏まえ、加筆修正する。
委員長	駅南も含め、一体的に整備手法を考える必要があるという表現がよいのではないかな。
委員	駅南再開発地区に建設中の駐車場については、500 台の駐車スペースのうち、月極 250 台、時間貸し 250 台を予定している。駅北に新庁舎が建設され、駅南に駐車場がなく利便性が悪いということであれば再開発ビルの駐車場を利用していただくことも可能である。
委員	駐車場の整備手法について、来庁者の駐車場についてのみ記載がある。公用車については整備が必要だと申し上げた。ただし、庁舎建設とは切り離して、アウトソーシング等で検討する必要がある。50 年先の負債を作らないために、公用車についてアウトソーシングや既存の民間駐車場を活用するという記載が必要ではないかな。
委員長	駅北に新庁舎を建設するのであれば、地価が高い場所になる。表現については検討するが、公用車駐車場の整備も重要な問題であると思う。
委員	「２（１）人口の見通し」について、「人口が 10 万人を下回ると都市としての利便性が低下し、人口減少を加速させる恐れがある」と記載がある。実際にそのような事例があるのか、また、現時点で人口 10 万人以下の市町村でこのような現象がおこっているのかという疑問がうまれる。誤解を招く表現ではないかな。
事務局	第 7 次総合計画にある表現を引用した。総合計画の表現が何を根拠としているのかについては、調べておく。
委員	「３＜役割 1：まちづくり＞【課題】①」について、「利便性を高め、多治見市の魅力を内外に発信することにより、人口流失の抑制と移住定住を促進する要となります」と記載がある。ひとつのきっかけではあると思うが、本当に要となるのか。人口流失というのはもっと大きな問題ではないかなと思う。
委員長	まちの現在のあり方、将来像によって変わってくる。個人的には、多治見市にとって多治見駅は重要であると思っている。
委員	「６（２）１）都市整備将来構想及び区画整理事業・再開発事業」について、「東京オリンピック・パラリンピックに伴う建設事業費の増嵩などにより、高度利用が進んでいませんが」と記載がある。オリンピックと庁舎建設にどのような関連があるのか、わかりづらい。

事務局	表現がわかりづらいという指摘をいただいた。表現を工夫する。オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、建設業の需要が高まり、建物の床単価が上昇している。本来であれば、区画整理を行ったので高度利用していただきたいところであるが、床単価の上昇により高度利用が進んでいないというのが現状である。
委員	一時的な影響であると思われることを、記載してよいか疑問である。 「6（2）3）多治見市全体への波及効果」に「多治見駅周辺が活性化することで、各地域拠点の利便性と魅力が向上することが期待されます。」とあるが、もう少し具体的に説明すべきではないか。駅周辺の活性化と、地域拠点の利便性向上の関連性がわかりづらい。
委員	「2（3）都市計画から見たまちづくり」に「地域で職・住が完結する暮らしが可能になる」と記載があるが、断言してよいか。「2（3）都市計画から見たまちづくり」「3＜役割2：ネットワーク型コンパクトシティの形成＞【課題】②」にネットワーク型コンパクトシティについて書かれている。「地域で職・住が完結する」という記載は、ネットワーク型コンパクトシティに矛盾しているように読み取れるのではないか。
委員長	「地域」という言葉が、どの規模の地域を指しているのかにより捉え方も変わる。また、地域で職・住を完結させることは、不可能ではないが容易ではない。表現を変更する。
委員	「2（3）都市計画から見たまちづくり」に参考として「都市計画マスタープランにおける公共交通政策の方針」という図が掲載されている。毎年、年度初めにバスは減便されており、市民の感覚では、公共交通が強化されていると思えない。実際に路線バスを強化してほしいということが強い希望であるが、強化すると中間報告に記載するのであれば、多治見市が実施している「地域あいのりタクシー」を例として挙げてはどうか。
事務局	路線バスの強化について、200円バスを運行しており、懸命に取り組んでいるが、なかなか成果が出ていない状況である。本来であれば、少なくとも減便は避けたいところであるが、利用率が伸び悩み、強化を目指しているが実現は今一步である。
委員	私の住んでいる地区では、あいのりタクシーの評判が良い。公共交通ではないが地域住民の移動手段の一つとして活用している。あいのりタクシーについて中間報告に記載するか判断はお任せするが、公共交通政策の方針として路線バスを強化すると記載するのであれば、表現を工夫した方がよいのではないか。
事務局	前回までの委員会の資料に、公共交通政策の取り組みの一つとして、200円バスとあいのりタクシーについて記載をしていた。中間報告としては、細かすぎるということで記載を省略した。図中の地域内交通エリアという記載にあいのりタクシーも含まれていると読み取っていただければと思う。引き続きご協力をお願いしたい。
委員長	本日の意見をまとめる。駐車場の必要性について、駅南からのアクセスを考慮し、南北一体的に整備することについて明記する。公用車用駐車場の整備について明記する。地域での職・住完結について、表現を工夫する。その他すべてとはいえないかもしれないが、いただいた貴重なご意見は、より良い表現にすべく努める。
(2) 参考資料について	

事務局	(資料2～4について説明)
委員長	質問、意見はあるか。ないようなので、中間報告の最終確認を行う。大きく2点。駐車場について、駅南からのアクセスを含め一体的に考える必要性があること、公用車の駐車場について明記すること。その他委員からご指摘いただいたことについて、可能な範囲内で修正を行う。修正については、委員長に一任いただいて、中間報告としては本日の案で確定としてよろしいか。
各委員	異議なし。
委員長	特に駐車場の必要については、2点、委員長として確認しご意見を反映させていただく。
事務局	中間報告の取扱いについて説明する。本日の議論をもとに中間報告(案)を修正し、委員長の確認後、確定とする。委員会を代表して、委員長から市長へ中間報告を提出する場を設ける。また、委員会の中間報告であるため、パブリックコメントは実施しない。市としては、中間報告を受け、市民の方へホームページ等で周知をし、市議会へ提出をする。今後の議論の大きな礎にしたいと考えている。
(3) その他について	
委員長	新しい庁舎の機能等を盛り込んだ議論を行うことが理想であるが、現段階では、建設地が確定していないこと、建設スケジュールが不透明であることから、不十分な状態で進んできた。中間報告の提出にあたり、各委員はある程度共通の認識をもっていると理解している。その共通認識の範囲内で、新庁舎の機能等について議論を進めていきたい。これからの時間は、新庁舎への思いを語るきっかけにさせていただければということで、他自治体の事例をみていく。
事務局	(新庁舎フロアイメージについて、スクリーンに映し出して説明)
委員長	現在、駅北庁舎にある部署と、本庁舎にある部署について、新庁舎での配置のシャッフル率はどれくらいか。
事務局	建設地が未定であるため、執務室の配置について具体的な案はない。
委員長	イメージ図から、議場を1階に設置するという構想を持っているということによいか。
事務局	議場は、年間の利用日数が少ないため、多目的利用を検討しており、1階か2階の設置を考えている。2階の自由通路の床の高さは、通常の2階より高く3階より低くなり、また、議場は天井が高いというのが一般的である。2階の床の高さを合わせるという観点から、イメージ図では、議場を1階としている。
委員	駅北庁舎と新庁舎が隣接し通路で結ばれた場合、駅北庁舎と新庁舎の2階は同じ高さになるのか。
事務局	現段階の案では、自由通路からつながる新庁舎の入口にスロープを設置し高さを駅北庁舎に合わせ、また、新庁舎から駅北庁舎へつながる出口に少し階段を設けることを想定している。 (資料5について説明)

委員長	ここでは、建設地については各委員の思いにまかせる。 イメージ図から、議場を1階に設置することで、より開かれた議会になるという可能性があるが、上手く活用をしていかないと1階に使用頻度の低いスペースができることになってしまうと感じた。 意見のほか、今後の議論に必要な資料があれば申し出てほしい。
委員	多治見まちづくり株式会社が虎溪用水広場を運営している。広場でイベントを開催したいという希望は多数あるが、雨天の場合どうするかという問題がある。新庁舎の建物から広場側へ突き出した屋根のようなものが設置できれば、広場の活用の可能性が広がるのではないかと。また、夏に日よけとしての効果も期待できるのではないかと。
委員	規模の大小ではなく、きらりと光る何かがあるとよい。それは陶芸であるか何であるのかは考えていく必要があるが、多治見市役所にしかない個性・特徴があると素晴らしい。 時代の変化の速度はどんどん加速していく。フレキシブルであること、また最高のデジタルインフラの導入を検討してほしい。
委員	駅周辺だけではなく、多治見市全体の発展を考えてほしい。コロナ禍で生活、仕事、全て変わってきており、新庁舎建設を検討するにはよい時期ではないかと。中小企業、個人、それぞれが輝けるまちにしていくという思いでやっていく必要がある。人口はどんどん減少していき高齢化が進んでいく。これからの時代の人々が安心して暮らせるまちを目指して形にしてほしい。 専門家の意見を参考にしながら、今後も一市民として意見を述べさせてもらいたい。 リニアが開通すると、都心と地方が近くなる。地方から都心へとよく言われるが、多治見が暮らしやすく魅力的なまちであれば、都心から多治見市へ移住してくる可能性もある。
委員長	人の動き、交通手段等の変化について否定的にとらえるのではなく、その変化を多治見市がどのように受け止め、対応していくかということが重要。多治見市は魅力的なまちになりうるポテンシャルを秘めていると思っており、そのきっかけのひとつとしての多治見駅、新庁舎であると思う。
委員	公私含めた、活動のしやすさが大切であると思う。現在は、活動がしづらいというイメージが先行し、若い世代の方がまちに溶け込みにくい、地域の方と関わりにくいということがあってはいないかと。みなが手を繋いで行動していくことが重要であると考えており、市庁舎はその活動の拠点としての側面もある。若い世代の方が関わりやすい、使いやすいという場所になるとよいと思う。若い世代の声もきいていただけたらよい。
委員	イメージ図をみて、自由通路から新庁舎の2階に入ってきたところが鍵ではないかと思う。人が多く通るところであるので、多治見の魅力が伝わり、市民が市政を近く感じられる場所になるとよい。駅北庁舎の保健センターを目的として、自由通路からベビーカーをひいたお母さんたちが通っていくことになると思うので、温かみのある、安心感の得られる場所になるとよい。
委員長	駅南の再開発がどんどん進んでいるが、委員もおっしゃっていたように、地域拠点とつないでいくことが重要である。

委員	市民討議会というものに 10 年間役員として携わってきた。無作為に選ばれた市民の方が集まり、各年のテーマについて議論し、提言書としてまとめ市に提出する活動をしている。多くの人が市役所に行ったことがない、よくわからないと言う。よく話をきくと、その内容であればくらし人権課へ、緑化公園課へ相談すればいいとわかるが、手続きの方法等がわからず結局行かない。いままでハード面について議論していただいていたが、使い勝手が重要であると思う。困った方がまずはそこに行けばよい、と足を運びやすくなるワンストップ窓口があればよいのではないか。
委員長	市庁舎は公共サービスの拠点であり、委員が携わってこられたような市民参加の活動の一つの成果が駅北庁舎である。建物が変わることにより、これまで以上に公共サービスや市民参加が進む場所になることを期待したい。 また、駅北に建設されれば、多治見駅のついでに気軽に市役所へ足を運ぶことができるようになるという側面もあると思う。
委員	虎渓用水広場との連携、議場の活用がポイントではないか。新庁舎の事業費は高額であるが、他自治体の事例と比較して突出している訳ではない。また面積について、保健センターや子育て広場等の他の機能を除くと、他の自治体と比較して大きすぎるということはない。 駐車場について、大垣市は駐車場を多数整備している。すべて参考となるということではないが、他自治体の事例も含め今後研究していきたい。
委員長	前半は中間報告（案）の検討、後半は他自治体の事例を参考にしながら、新庁舎の機能等についてご意見をいただいた。本日はここまでとしたい。
3 次回以降の日程	
事務局	会議録は調製が出来次第、郵送により各委員へ確認を取らせて頂く。次回の日程について、少し間をあけ年度末から年度初めを予定している。日時が決定次第、ご案内をする。それではこれで本日の会議を終了する。